

受益者の皆さまへ

2025年4月7日

**弊社ファンドの基準価額の下落について（4月7日）**

下記公募ファンドの4月7日の基準価額は、前営業日比5%以上の下落となりました。基準価額下落となりました背景と今後の見通しについてご報告します。

**【基準価額が前営業日比5%以上下落したファンド】**

ファンド名	4月4日	4月7日	前営業日比	騰落率
世界ツーリズム株式ファンド	11,417円	10,839円	▲578円	▲5.1%
世界バイオ医薬株式ファンド	9,974円	9,381円	▲593円	▲5.9%
アドバンテージ日本株式ファンド	21,155円	19,688円	▲1,467円	▲6.9%
世界シェールガス株ファンド	17,590円	16,081円	▲1,509円	▲8.6%

**【為替】**

為替レート	4月4日	4月7日	前営業日比	騰落率
米ドル/円	146.03	145.78	▲0.25	▲0.2%
ユーロ/円	161.51	159.85	▲1.66	▲1.0%
カナダドル/円	103.80	102.39	▲1.41	▲1.4%

\* 為替レートの数値・前日比は投信協会のデータに基づいて作成

**【株価】**

株式指数	4月3日	4月4日	前営業日比	騰落率
モーニングスター・グローバル・マーケット	3,453.45	3,273.05	▲180.39	▲5.2%
ナスダック バイオテクノロジー株指数	4,130.77	3,904.12	▲226.65	▲5.5%
S&P500 エネルギー株指数	666.28	608.32	▲57.96	▲8.7%

株式指数	4月4日	4月7日	前営業日比	騰落率
東証株価指数（TOPIX）配当込み	4,319.10	3,982.55	▲336.55	▲7.8%

**基準価額下落の背景と今後の見通し**

4月2日(水)の米国株式市場終了後にトランプ大統領が発表した主要貿易相手国に対する「相互関税」に対し、4日(金)のアジア株式市場終了後に、中国が対抗措置として米国製品への34%の追加関税を発表しました。これを受けて、貿易戦争が深刻化すると懸念から、欧州市場の時間帯で米国株価指数先物が大きく下落しました。米国時間に入っても、指数先物の下落を追認する形で、米国の現物株式も大きく下落して終わりました。

世界ツーリズム株式や世界バイオ医薬株式に関しても、トランプ政権の関税政策の不透明感がもたらすリスクオフによる世界的な株安の影響を受け、関連銘柄の株価は大きく下落しました。

為替市場については、米国の3月の雇用統計発表後は雇用堅調との評価から為替市場も落ち着いた動きとなったものの、7日(月)のアジア時間が始まる段階で、米中の貿易戦争に対する悲観的な見方から、リスク回避の円高が進行しました。

7日(月)の日本株式市場は、上述の関税に関する不透明感による株価下落に加え、日銀による利上げ観測後退から銀行株も一段と大きく値を崩す展開となり、先週末を超える下落幅となりました。

今後の見通しについては、追加関税に関する中国及びその他主要国と米国政府との交渉の進展が注目されますが、相場急落により投資家センチメントが悪化しており、リスクオフ姿勢がしばらく継続すると思われます。

#### <投資信託に関するご注意>

##### ■ 投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としております。当該資産の市場における取引価格や為替レートの変動等により基準価額は影響を受けるため、損失が生じる可能性があります。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。

また、ファンドは預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではなく、信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入しておりません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」を予めあるいは同時にお渡しますので、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

##### ■ 投資信託に係わる費用について

①お申込時に直接ご負担いただく費用 申込み手数料： 上限 3.85%(税抜 3.50%)

②ご解約時に直接ご負担いただく費用 信託財産留保額： 0%~0.5%

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬： 年 1.375%（税抜き 1.25%）～2.618%（税抜き 2.38%）

（ハイウォーターマーク方式による実績報酬 22.0%（税抜き 20%）がかかるファンドもあります）

④その他費用

有価証券等の取引に伴う手数料（売買委託手数料、保管手数料等）、監査費用、

信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※詳しくは各商品の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

※リスクについては一般的な投資信託を想定しています。また、費用の料率等につきましては、キャピタル アセットマネジメントが運用する投資信託のうちでの上限や範囲を示しております。投資信託に係わるリスクや費用は商品ごとに異なりますので、ご投資をされる際には、事前に「投資信託 説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

**<当資料に関するご注意>**

- 本資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の市場環境の変動等を保証、示唆するものではありません。
- 本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が、信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されたキャピタル アセットマネジメント株式会社の見解や見通しは本資料作成時点のものであり、市場環境等の変化により、予告なく変更する場合があります。

**キャピタル アセットマネジメント株式会社**

金融商品取引業者関東財務局長（金商）第 383 号

加入協会： 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会